

Vol.135 「小学体操服の着用状況」

小学校では体育の時間以外にも、クラブ活動や遠足・課外学習、普通の授業、登下校など、体操服を着る機会が多いようです。その中で、体操服を着ていて気になる事もあるようです。今回は、東京都・神奈川県の小中学生の子どもがいる母親に、お子様が着用している体操服のタイプ、体操服の透けが気になるか、下着の着用の許可状況について調査しました。

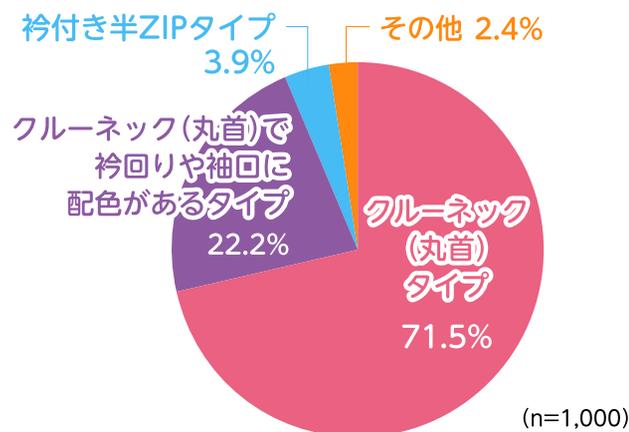


調査概要

調査対象：東京都・神奈川県の小中学生の子どもがいる母親1,000人
調査方法：インターネットリサーチ
実施時期：2017年3月

Q 1. 体操服の着用タイプ

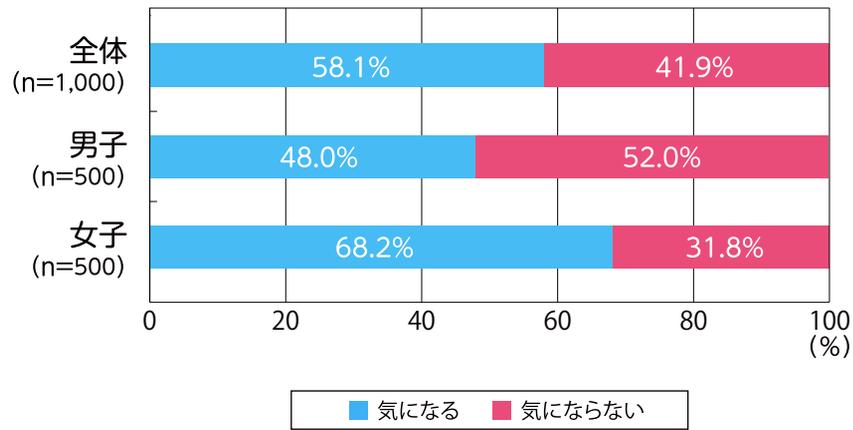
小学体操服の半袖シャツの着用しているタイプは、「クルーネック(丸首)タイプ」(71.5%)が最も多く、次に、「クルーネック(丸首)で衿回りや袖口に配色タイプ」(22.2%)、「衿付き半ZIPタイプ」(3.9%)という結果になりました。「その他」(2.4%)は、「衿付きZIPなし」、「衿付きVネック」、「衿付き半ボタン」というタイプがみられました。



【図1】 体操服の半袖シャツのタイプをお答えください。(単数回答)

Q 2. 体操服の透けが気になるか

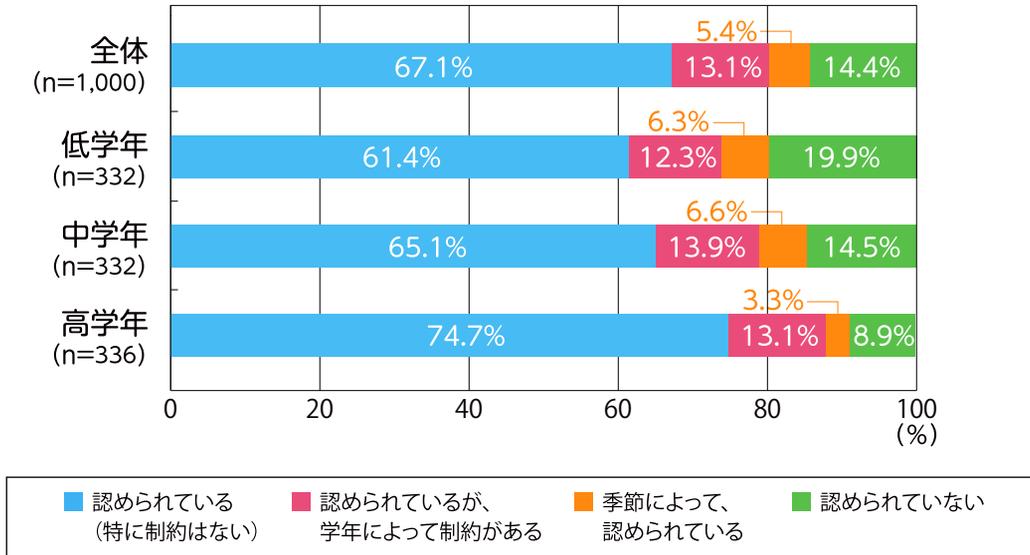
体操服の半袖シャツを着ているときの透けが「気になる」という回答は「全体」(58.1%)、「男子」(48.0%)、「女子」(68.2%)で、小学生の女子の母親の約7割近くがシャツの透けを気にしているようです。



【図2】 体操服の上物（半袖シャツ）の透けは、気になりますか。（単数回答）

Q 3. 下着の着用の許可状況

下着(肌着、ブラジャーなど)の着用の許可状況は、小学校で「認められている(特に制約はない)」(67.1%)が多いようです。子どもの学年別では、「認められている(特に制約はない)」という回答は「低学年」(61.4%)、「中学年」(65.1%)、「高学年」(74.7%)という結果であり、学年が高いほど下着の着用は許可される割合は増加しています。



【図3】 下着(肌着、ブラジャーなど)の着用は学校で許可されていますか。(単数回答)

 まとめ

文部科学省の学校保健統計調査報告書によると、小学生の年間発育量は、男子・女子共に身長、体重のいずれも、昔に比べて現代のほうが早期に増加していることから、最近の子どもの成長は早くなっているようです。

今回、小学生の子どもがいる母親を対象にした調査では、小学体操服の半袖シャツの着用しているタイプは、「クルーネック(丸首)タイプ」(71.5%)、「クルーネック(丸首)で衿回りや袖口に配色タイプ」(22.2%)、「衿付き半ZIPタイプ」(3.9%)が主に着用されていました。その体操服を着ているときにシャツの透けが「気になる」という母親の声は、「男子」(48.0%)は半数に対し、「女子」(68.2%)は7割近い母親が子どものシャツの透けが気になると回答しています。下着(肌着、ブラジャーなど)の着用の許可状況は、小学校で「認められている」(67.1%)、「認められているが、学年によって制約がある」(13.1%)、「季節によって、認められている」(5.4%)という状況の一方で、下着の着用を「認められていない」(14.4%)という小学校も1割を超えて存在しているという実態がわかりました。

小学生にとって身近な体操服ですが、子どもの発育の早期化という時代の変化とともに、特に、女子の場合は、成長期で胸のふくらみが気になったり、下着(肌着、ブラジャーなど)の着用が許可されていても本人がつけたがらなかったりするなど、母親は気を揉んでいるようです。そのためにシャツ生地が透けないことや、子どもの成長に配慮した体操服の工夫が求められています。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>